

昭和63年度作況一覽

秋播小麦	大豆	小豆	菜豆	ばれいしょ	てんさい
良	良	不良	不良	やや不良	やや良

I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月：

上旬は気温がやや低かったが、3月下旬から4月上旬の降雪が少なかったため、融雪は順調に進み根雪終は4月8日で平年より4日早かった。耕鋤始は4月26日で平年より3日早かった。

5月：

気温は上旬が低く、5月3日に晩霜があり平年より1日早かった。降水量は中旬に73mm記録し平年より62mm多かった。

6月：

旬ごとの気温の変動が大きかった。降水量は下旬が著しく少なかった。日照時間は上・中旬少なかったが、下旬は多かった。

7月：

気温は低かった。降水量は著しく少なく、干ばつ気味に経過した。

8月：

気温は上旬、下旬は高く経過した。下旬は7日の降水日数があり152mmの降水量を記録した。

9月：

気温の変化が大きかった。降水量は少なかったが、日照時間は平年並であった。

10月：

気温は上旬が高かったが、下旬は低かった。降水量は少なく、日照時間はやや多かった。

以上、農耕期間(4月～10月)の積算平均気温は2999日度で平年(3060日度)より61日度低かった。特に7月は544日度で平年(623日度)より79日度低かった。降水量557mmで平年(625mm)より68mm少なかった。特に、6月下旬から8月上旬は27mmで平年(160mm)より133mmも少なかった。日照時間は1447時間で平年(1349時間)より98時間多かった。

季節表

年次	根雪始 (62年.月.日)	根雪終 (月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月.日)	耕鋤始 (月.日)	晩霜 (月.日)	初霜 (月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (月.日)
本年	11.25	4.8	136	4.25	4.26	5.3	10.17	166	11.3
平年	12.5	4.12	129	4.17	4.29	5.4	10.14	162	10.28
比較	△10	△4	7	7	△3	△1	3	4	6

注) 平年値は過去10年間の平均。△は減を示す。

農耕期間の積算値

項目 期間	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
4～ 10月	本年 2,999	4,020	1,969	557	1,447
	平年 3,060	4,133	1,983	625	1,349
	比較 △61	△113	△14	△68	98
5～ 9月	本年 2,550	3,273	1,821	427	1,063
	平年 2,606	3,360	1,850	464	998
	比較 △56	△87	△29	△37	65

注) 平年値は過去10年間の平均。△は減を示す。

II. 昭和63年度の作況

1. 秋播小麦 昭和63年度の作況:良

事由:9月11日に平年より3日早く播種した。越冬前の生育は平年並であった根雪始めは11月25日で平年より10日早かった。しかし、積雪量は1月までは少なめで2月に入って平年並となった。4月上旬の気温は平年よりやや低めであったが、融雪は順調で根雪終わりは4月8日で平年より4日早かった。雪腐病の発生は極めて少なかった。融雪後の4月中旬は気温が高かったため、生育は順調で5月20日では草丈は平年より10cm優っていた。

出穂期は平年より2日早かった。登熟期間の気温は6月下旬が高温であったほかは低温に経過した。また、登熟中の降水量が少なかったため、成熟期は平年より6月上旬までの生育が良好であったことから、平年より12~14cm長かった。穂数は「ホロシコムギ」が30本、「タクネコムギ」が130本平年より多かった。千粒重は「ホロシコムギ」が平年より0.7g重かったが、「タクネコムギ」は逆に2.1g軽かった。これは穂数が著しく多かったためである。子実重は、「ホロシコムギ」が平年比150%、「タクネコムギ」が104%であった。品質は平年よりやや劣った。

以上により、昭和63年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		ホロシコムギ			タクネコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(昭62.月.日)		9.11	9.14	△ 3	9.11	9.14	△ 3
出芽期(昭62.月.日)		9.19	9.23	△ 4	9.19	9.23	△ 4
出穂期(月.日)		6.11	6.13	△ 2	6. 3	6. 5	△ 2
成熟期(月.日)		7.22	7.28	△ 6	7.10	7.22	△12
草丈 (cm)	昭62.10月20日	21	19	2	19	22	△ 3
	5月20日	54	44	10	53	43	10
	6月20日	109	99	10	109	98	11
茎数 (本/㎡)	5月20日	900	1016	△116	1041	915	126
	6月20日	643	543	100	780	600	180
成熟期に おける	稈長(cm)	109	95	14	102	90	12
	穂長(cm)	9.0	9.1	△0.1	7.7	8.4	△0.7
	穂数(本/㎡)	569	539	30	707	577	130
子実重(kg/10a)		604	527	77	491	472	19
リットル重(g)		771	771	0	803	786	17
千粒重(g)		45.8	45.1	0.7	38.8	40.9	△2.1
品質(等級)		2上	1	—	2上	1	—
子実重平年対比(%)		115	100	15	104	100	4

注) 平年値は前7か年中、昭和61年、62年(各収穫年度)を除く5か年平均。

2. 大豆 昭和63年度の作況:良

事由:播種期は5月28日で、平年より10日遅れた。しかし6月上旬に適度の降雨に恵まれ、気温もやや高めに経過したため出芽期は平年に比べて3~4日遅れとなった。出芽後6月中旬および7月には、気温は低く推移し生育は抑制された。このため「ユウヅル」、及び「ユウヒメ」の開花期はやや遅れた。しかし8月上旬に気温は高く推移し、中旬には降雨に恵まれたため生育は平年並に回復した。さらに8月下旬以降気象は順調に推移したため、生育は平年を上回った。10月上旬も気温は高く推移した。このため枯れ上がりが遅れ、いずれの品種も成熟期は平年に比べやや遅れた。主茎長は3品種とも平年であったが、主茎節数は3品種とも平年を上回った。分枝数及び着莢数は3品種とも平年を大きく上回った。又百粒重も平年を上回り特に「ユウヒメ」は平年を大きく上回った。子実重は3品種とも平年を大きく上回った。これは着莢数及び百粒重が平年を上回ったことによる。以上により、昭和63年度の作況は良である。

品種名 項目/年次	北見白			ユウヒメ			ユウヅル			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月.日)	5.28	5.18	10	5.28	5.18	10	5.28	5.18	10	
出芽期(月.日)	6.12	6.9	3	6.15	6.11	4	6.13	6.1	3	
開花期(月.日)	7.26	7.26	0	7.31	7.28	3	8.6	8.2	4	
成熟期(月.日)	10.8	10.5	3	10.12	10.7	5	10.18	10.17	1	
主茎長 (cm)	6月20日	3.9	7.0	△3.1	4.5	6.4	△1.9	4.5	7.9	△3.4
	7月20日	25.8	30.3	△4.5	22.8	26.6	△3.8	25.6	29.7	△4.1
	8月20日	57.2	60.3	△3.1	75.6	71.0	4.6	58.3	61.7	△3.4
	9月20日	57.2	60.3	△3.1	77.1	74.3	2.8	59.5	63.2	△3.7
	成熟期	57.2	59.9	△2.7	77.1	73.0	4.1	59.5	62.2	△2.7
主茎節数 (節)	6月20日	0.1	0.5	△0.4	0.1	0.4	△0.3	0.1	0.4	△0.3
	7月20日	5.6	6.4	△0.8	5.2	5.2	△0.5	5.4	5.9	△0.5
	8月20日	13.7	13.1	0.6	15.4	14.5	0.9	13.2	13.0	0.2
	9月20日	14.3	13.6	0.7	16.8	15.4	1.4	14.0	13.5	0.5
	成熟期	14.3	13.3	1.0	16.8	15.3	1.5	14.0	13.4	0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	2.5	2.0	0.5	1.6	1.2	0.4	2.9	2.0	0.9
	8月20日	5.5	4.4	1.1	6.2	3.8	2.4	7.9	5.9	2.0
	9月20日	8.2	4.5	3.7	7.8	4.5	3.3	8.7	6.3	2.4
	成熟期	8.2	4.8	3.4	7.8	4.4	3.4	8.7	5.8	2.9
着莢数 (莢/株)	9月20日	103.7	78.0	25.3	65.5	58.1	7.4	73.4	58.4	15.0
	成熟期	103.7	80.0	23.7	65.5	55.6	9.9	73.4	55.5	17.9
一莢内粒数(粒)	2.06	2.26	△0.20	1.69	1.97	0.28	1.83	1.81	0.02	
子実重(kg/10a)	382	313	69	391	300	91	357	284	73	
百粒重(g)	25.9	25.3	0.6	43.4	41.3	2.3	45.5	41.6	3.9	
虫喰率(%)	0.3	0.4	△0.1	0.8	0.6	0.2	1	0.3	0.7	
品質(等級)	2中	2中	—	3上	2上	—	2中	2下	—	
子実重平年対比(%)	122	100	22	130	100	30	126	100	26	

注) 平年値は前7か年中、昭和56年、61年を除く5か年平均。6月および7月の主茎節数は本葉数。

3. 小豆 昭和63年度の作況:不良

事由:播種期は5月27日で平年より7日遅れ、また、出芽期は6月14日と平年より4日遅れた。6月上旬から6月中旬及び7月全般は気温が平年より低く推移し、降水量も少なかったため、生育量は劣った。開花期は7月30日で平年より2日遅れた。8月下旬が高温に経過し、降水量も多かったため遅れていた莢の肥大が進み、9月10日に成熟期に達した。着莢数および一莢内粒数は平年並であるが、百粒重は平年よりやや軽く、子実重は平年比85%と収量は劣った。
以上により、昭和63年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.25	5.18	7
出芽期(月.日)		6.14	6.10	4
開花期(月.日)		7.30	7.28	2
成熟期(月.日)		9.10	9.8	2
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	3.3	△0.2
	7月20日	13.9	14.5	△0.6
	8月20日	33.3	47.2	△13.9
	9月20日	33.1	48.4	△15.3
主茎節数 (節)	6月20日	0.1	1.1	△1.0
	7月20日	5.0	5.7	△0.7
	8月20日	10.5	12.4	△1.9
	9月20日	10.3	12.2	△1.9
分枝数 (本/株)	7月20日	1.9	1.5	0.4
	8月20日	3.5	3.2	0.3
	9月20日	3.2	2.7	0.5
着莢数 (莢/株)	8月20日	28.7	33.5	△4.8
	9月20日	39.6	39.9	△0.3
一莢内粒数(粒)		6.22	6.19	0.03
子実重(kg/10a)		201	237	△36
百粒重(g)		11.6	12.2	△0.6
屑粒率(%)		1.4	2.3	△0.9
品質(等級)		3	2	—
子実重平年対比(%)		85	100	△15

注) 平年値は前4か年平均。6月および7月の主茎節数は本葉数で昭和59年を除く3か年平均。

4. 菜豆 昭和63年度の作況:不良

事由:播種期は5月中旬の雨により平年より8日遅れた。しかし、播種後は適度な降水量に恵まれ、気温もやや高めに経過したため出芽は良好で、出芽期は平年に比べて3日の遅れとなった。開花始めは7月上、中旬の低温により平年より5日遅れた。また、6月下旬から8月上旬までは降水量が少なく、干ばつの影響により主茎長が著しく短く、主茎数も少なくなった。また、成熟期も平年より3日早まった。そのため着莢数は平年を下回り、百粒重も重くなり、子実重平年比92%にとどまった。
以上により、昭和63年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次		改良早生大福		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.30	5.22	8
出芽期(月.日)		6.15	6.12	3
開花期(月.日)		7.21	7.16	5
成熟期(月.日)		9.5	9.8	△3
主茎長 (cm)	6月20日	8	13	△5
	7月20日	150	272	△122
	8月20日	260	315	△55
	成熟期	259	309	△50
主茎節数 (節)	7月20日	12.3	21.2	△8.9
	8月20日	18.2	25.6	△7.4
	成熟期	19.3	25.6	△6.3
分枝数 (本/株)	7月20日	4.9	4.9	0
	8月20日	2.7	3.7	△1.0
	成熟期	2.8	3.3	△0.5
着莢数 (莢/株)	8月20日	34.6	33.3	1.3
	成熟期	34.9	42.2	△7.3
一莢内粒数(粒)		4.37	4.39	△0.02
子実重(kg/10a)		270	294	△24
百粒重(g)		64.9	68.8	△3.9
屑粒率(%)		8.1	2.8	5.3
品質(等級)		2	2	—
子実重平年対比(%)		92	100	△8

注) 平年値は前8か年中、昭和56年、60年、61年を除く5か年平均。ただし、成熟期以外の主茎長・主茎節数・分枝数・着莢数および成熟期の主茎節数は欠測の昭和57年、58年も除く2か年平均。

5. ばれいしょ 昭和63年度の作況:やや不良

事由:植付けは平年より7日遅れた。5月中旬の気温が平年より高かったため、萌芽期は6月2日で平年並であった。初期生育で茎長は土壌水分が多かったため6月20日には6~11cm長く徒長気味であった。しかし、6月下旬から8月上旬までは、降水量が著しく少なく干ばつの影響を受けて、茎長は抑制され「男爵薯」は平年並、「農林1号」は17cm短かった。干ばつの影響で枯凋が進まず「男爵薯」は平年より4日遅く、「農林1号」は平年と同日となった。早生の「男爵薯」は8月上旬までの干ばつが影響して塊茎の肥大が劣った。このため一個重70g以下の塊茎割合が42.8%で上いも重に大きく影響し、平年比81%であった。晩生の「農林1号」は8月中、下旬の降水により、塊茎の肥大が順調であったため、二次生長もなく平年比111%の上いも重であった。しかし、「農林1号」は2L(180g)以上の塊茎に褐色心腐がみられた。以上により、昭和63年度の作況はやや不良である。

品種名 項目/年次	男爵薯			農林1号			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
植付期(月.日)	5.11	5.4	7	5.11	5.4	7	
萌芽期(月.日)	6.2	6.2	0	6.2	6.1	1	
開花期(月.日)	7.1	7.4	△3	7.2	7.2	0	
枯凋期(月.日)	9.6	9.2	4	9.25	9.25	0	
茎長 (cm)	6月20日	27	16	11	26	20	6
	7月20日	39	37	2	53	57	△4
	8月20日	38	41	△3	53	70	△17
茎数 (本/株)	6月20日	6.2	3.8	2.4	5.7	4.8	0.9
	7月20日	6.4	3.9	2.5	5.7	5.1	0.6
	8月20日	6.4	3.7	2.7	5.7	5.0	0.7
上いも重(kg/10a)	2,763	3,425	△662	4,790	4,325	465	
でん粉価(%)	14.5	14	0.5	14.6	14.9	△0.3	
でん粉重(kg/10a)	373	445	△72	651	601	50	
上いも重平年対比(%)	81	100	△19	111	100	11	
でん粉重平年対比(%)	84	100	△16	108	100	8	

注) 平年値は前7か年中、昭和56年、58年を除く5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

6. てんさい 昭和63年度の作況:やや良

事由:播種は平年より8日早い3月29日、移植は平年並の5月7日に行った。移植時の土壌水分が適度であったため、活着は良好であった。その後、6月中旬まで全般に低温、多雨、寡照の天候が続いたが湿害の影響は見られず、地上部の生育は順調であった。6月下旬に一時高温になり、7月は再び低温になったが、日照時間が多かったため、地上部、根部とも、生育は旺盛であった。8月にはいって、降水量が少なかったため、地上部の生育量が低下して平年並になった。一方、根部は、8月下旬の152mmの降水量に影響されず、その順調な肥大は収穫期まで続いた。地上部の収穫期における葉の退色は平年に比べ不良であった。

この結果、収穫期における茎葉重は5.26t/10aでほぼ平年並、根重は8.37t/10a、根中糖分は16.7%で、それぞれ平年の120%と97%であった。糖量は1,397kg/10aで平年の118%であった。

以上により、昭和63年度の作況はやや良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノヒカリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		3.29	4.6	△8
移植期(月.日)		5.7	5.8	△1
収穫期(月.日)		10.11	10.16	△5
草丈 (cm)	5月20日	5.1	4.2	0.9
	6月20日	32.7	24.4	8.3
	7月20日	53.5	50.7	2.8
	8月20日	55.4	59.5	△4.1
	9月20日	57.5	60.7	△3.2
	収穫期	56.3	61.1	△4.8
葉数 (枚)	5月20日	4.1	2.1	2.0
	6月20日	11.5	9.7	1.8
	7月20日	20.8	19.8	1.0
	8月20日	28.5	26.7	1.8
	9月20日	31.5	29.8	1.7
	収穫期	30.4	27.7	2.7
根周 (cm)	7月20日	23.7	21.8	1.9
	8月20日	32.8	30.7	2.1
	9月20日	37.7	35.2	2.5
	収穫期	39.3	37.5	1.8
茎葉重(t/10a)		5.26	5.56	△0.30
根重(t/10a)		8.37	6.96	1.41
根中糖分(%)		16.7	17.21	0.51
糖量(t/10a)		1,397	1,182	215
根重平年対比(%)		120	100	20
根中糖分平年対比(%)		97	100	△3
糖量平年対比(%)		118	100	18

注) 平年値は前7か年中、昭和56年、60年を除く5か年平均。